兵庫民報

第2814号　2021年5月16日

第1,2,3,4日曜日発行(月4回)　第三種郵便物承認1963年12月21日　編集・発行　日本共産党兵庫県委員会

憲法生かす社会へ

憲法記念日に金田さんと憲法県政の会が宣伝

三宮交通センタービル前で訴える金田さん
(録画は左のQRコードから視聴できます)

①　②　③

憲法が輝く兵庫県政をつくる会(憲法県政の会)は五月三日「憲法記念日」、神戸・三宮交通センタービル前で宣伝を行いました。

七月の県知事選挙に同会から立候補を予定している金田峰生さんは、現在の兵庫県が国と二人三脚で保健所や公的病院を減らし、福祉を後退させてきたと批判。これに対して、コロナ対策ではPCR検査を抜本的に拡充、医療機関・福祉施設への補償をさせること、暮らし支える施策では高校卒業までの子どもと高齢者の医療費を無料化することなどを提起しました。こうした「憲法を生かし、新しい社会をつくることができるのは、県民と立憲野党との共同で誕生させた知事でこそできます」と訴えました。

同会の津川知久代表幹事、日本共産党の松田隆彦県委員長らも訴えました。

同会はこの宣伝の録画をはじめ、金田さんと会の活動を逐次、ツイッターに投稿しており、広く拡散をと呼びかけています。

シリーズ　憲法が輝く兵庫県政へ　(30)——まとめ

市民と野党の共闘で「命と暮らしを本気で守る県政」を

憲法が輝く兵庫県政をつくる会代表幹事　石川康宏

県民不在——自民内部の主導権争い

五期二十年つづいた井戸がら、他でもない日本維新の会の副代表が知事をつとめる大阪府の財政課長だった斎藤元彦氏を担ぎだし、この斎藤氏を当の維新の会が推薦するという奇妙な動きが起こりました。その後、自民党の県連は斎藤氏の推薦を決定し、東京の自民党本部も推薦を決めました。

一方、金沢陣営は、兵庫県政の終了確定とともに、日本共産党をのぞくオール与党体制が一挙に崩れています。井戸敏三知事は後継候補として副知事をつとめた金沢和夫氏を指名し、自民党県議の多くはこれへの支持を表明しました。しかし、その後、兵庫県選出の国会議員等が「金沢氏では維新に勝てない」と言いな財界の中枢である神戸市商工会議所の副会頭を会長につけた後援会を発足させ、連合(日本労働組合総連合)も金沢氏の推薦を決定しましたから、「保守分裂」は確定的となっています。とはいえ、政治路線や政策にかんする両者の議論は聞こえません。起こっているのは、利を狙っているという状況です。

立憲、国民等にも独自候補に向けた動き

これまで井戸県政を支えてきた立憲民主党(以下「立憲」)や国民民主党(以下「国民」)にも新たな模索が起こりました。四月二十五日のトリプル選挙では「市民と野党の共闘」候補が完勝を果たしましたが、そうした国政をめぐる世論の大きな変化も背景にして、独自候補の擁立に向けて動きだしたのです。

その後、具体的な候補者決定にはいたっておらず、たとえば立憲の県連は斎藤氏を支援しないと決め、金沢氏への支援については意見が割れたとのことでした。また野党が集まる場で出された「反維新のために金沢支持を」という提案に、各党がそろってこれを拒否したという情報も聞こえてきました。最終的に立憲は自主投票になる見通しだという報道もされていますが、かりにそうなったとしても「市民と野党の共闘」に向けた県民の願いの高まりは変わりません。

「市民と野党の共闘」をなんとしても実現するために

私たちは、立憲や国民のこうした新しい動きにも注目しながら候補者選考を進めてきました。そして、七月十八日の投開票まで残りおよそ三カ月となったところで、県民不在のまま内部の主導権争いに終始する自民党等の動きを傍観することなく、「市民と野党の共闘」を主体的に切り拓いていこうとの立場から金田峰生候補の擁立を決めました。

「金田さんはいい人だが、共産党の人では共闘はむずかしい」という懸念の声もあるようです。しかし、たとえば二〇一九年の参院選で共産党が擁立した候補が三つの選挙区で野党統一候補となったように、もはや「共産党の政治家だから統一できない」という時代ではありません。

金田さんは、かつて県議をつとめ、二〇〇五年県知事選挙に挑戦し、また国会議員選挙にも何度も挑戦してきた、試されずみの政治家です。四月十五日の立候補表明の記者会見で、金田さんはこう語りました。

「県はこの間、保健所を半分に減らし、公立・公的病院の統合再編も進めてきました。それで地域医療が脆弱になっています。新型コロナ感染症で六百八人(会見時)もの方が亡くなり、コロナ患者以外の方も、医療逼迫で受け入れ病院がなかなかみつからず、迅速な治療が受けられなかったという事態も起こりました」。

「政治の転換が求められています」「私はこれから、会の候補者としてはもちろんですが、県民と野党の共同候補として、広く県民のみなさん、立憲野党のみなさんとも共同できる候補として、がんばります」。

——候補者自身が最初から「県民と野党の共同候補」「共同できる候補として」がんばる姿勢を明らかにしているのです。

「野党は共闘」の声を全県から

私たちは「憲法が輝く立憲主義の県政」を広く県民に訴えながら、あわせて野党各党に「共闘」の輪を広げるためのはたらきかけを行なっていきます。「兵庫県でも野党は共闘」——この声を県民多数の声として、「県民の命と暮らしを本気で守る県政」を力をあわせてつくっていきたいと思っています。

変化する情勢の大局をしっかりとらえ、お互いの知恵と力と意欲をあわせて、なんとしても「共闘」を実現し、必ずや、この夏に、新しい兵庫県政をつくっていきましょう。

(連載完)

観感楽学

四月二十五日から三回目となる緊急事態宣言が発出されました。どうしても自宅で過ごすことも多くなり、買い物もネットで済ますことが、今まで以上に多くなったのではないでしょうか。支払いはクレジットカードで済ませ、商品も注文をしてから早ければ、次の日には届きます▼ただ支払いでクレジットカードを使うと個人情報の漏洩を心配したり、そもそも本当に商品が届くのかと心配する人もいるそうです▼そこで、今回はネットショッピングで少しでもトラブルにあわないようにちょっとした注意点を書いてみました▼①表示したサイトが情報を暗号化して送受信するようになっていること。アドレスバーにアドレスと一緒に鍵マークが表示されていれば暗号化されています。②表示したサイトの問い合わせやサポートにフリーメールが使われている場合は注意。③振込先口座の名義が企業名ではなく個人名の場合は注意。あまり知られていない銀行の口座なども注意。④他のサイトと比べ商品の値段があまりにも安い場合は注意。⑤表示したサイト名で口コミを検索する。詐欺被害にあったなどの書込みがないこと▼これで完璧だというものではありませんが、購入しようとしているサイトを表示したときに参考にしてもらえればと思います。

(ふ)

Web版 https://hyogo-minpo.blogspot.jp/→
←編集部あてメール minpo@jcphg.org

定価(税込)1カ月300円(1部80円)　郵送の場合は送料月168円
日本共産党兵庫県委員会 652-0811 神戸市兵庫区新開地3丁目4番20号 ☎078-577-6255(代表)